


2020年3月期 第3四半期決算概要



日進工具株式会社

2020年1月31日
(証券コード6157)

目次

1. 2020年3月期3Qの業績	P. 3 . . .	第3四半期（累計）決算の概要
	P. 4 . . .	営業利益の減益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	四半期業績推移
<hr/>		
2. 2020年3月期の業績予想	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	下期業績予想と進捗率
	P. 16 . . .	配当予想
<hr/>		
参考資料	P. 18 . . .	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 19 . . .	投資指標
	P. 20 . . .	株価推移とバリュエーション
	P. 21 . . .	I R 情報サイトのご案内

2020年3月期 第3四半期の業績



第3四半期決算（累計）の概要

工具需要の後退から減収・減益

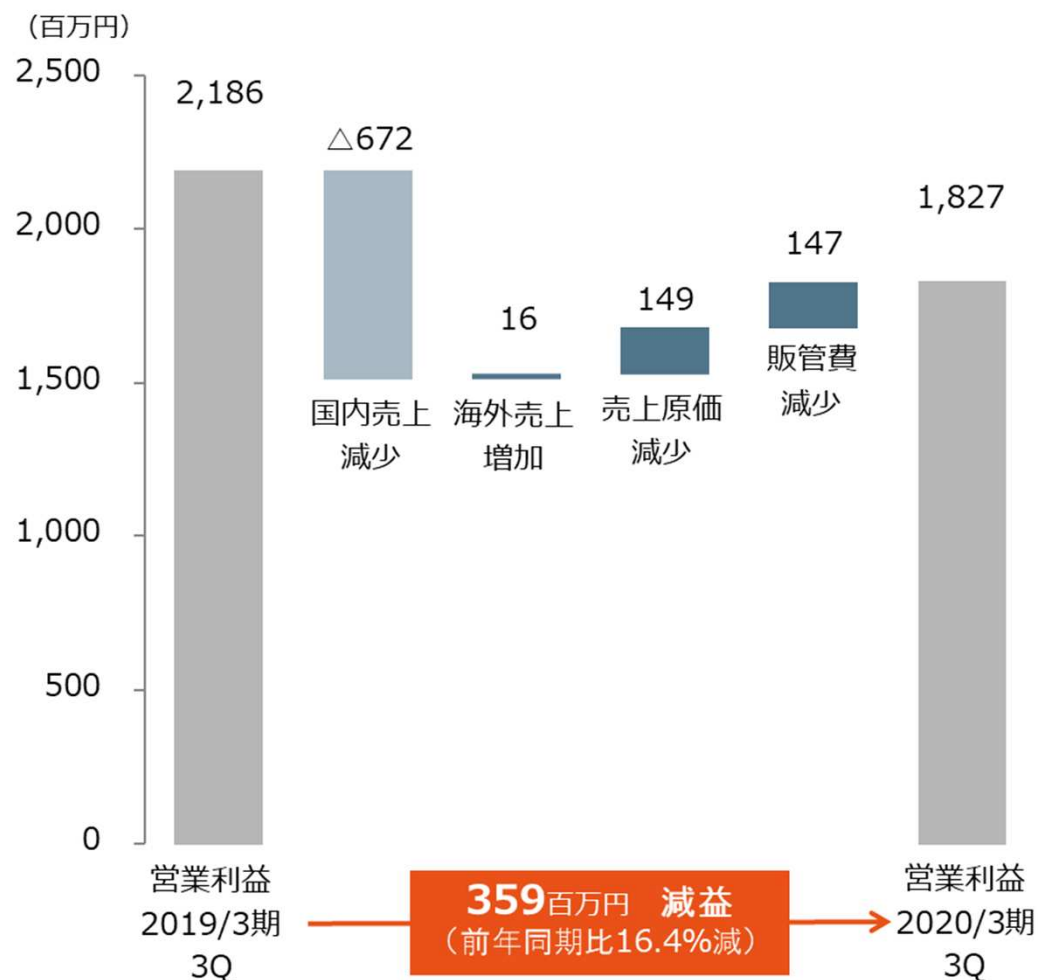
通期予想に対する進捗率は

売上高が76.3%、経常利益は84.8%

(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2020年3月期	進捗率
	3Q累計	3Q累計	通期予想	
売上高	7,977	7,321	9,590	76.3%
前年同期比	+10.1%	-8.2%	-8.5%	
営業利益	2,186	1,827	2,150	85.0%
前年同期比	+10.3%	-16.4%	-25.3%	
経常利益	2,194	1,831	2,160	84.8%
前年同期比	+9.6%	-16.5%	-25.4%	
四半期純利益	1,496	1,226	1,460	84.0%
前年同期比	+5.0%	-18.0%	-25.9%	

- 米中貿易摩擦の激化や海外経済の減速に伴う輸出の鈍化等から、当社製品を使用する自動車関連や電子部品・デバイス関連も影響を受け、工具需要は減少傾向。この結果、連結売上高は前年同期に比べ8.2%少ない7,321百万円に止まった。
- 連結経常利益は1,831百万円と前年同期から16.5%の減少となり、第2四半期累計期間に比べ減少幅が広がった。なお10月に下方修正した通期予想に対する進捗率は84.8%と高いが、第4四半期は市場拡大のための先行投資と位置付けるプライベートショーもあり経費が嵩む予定。
- 売上高経常利益率は25.0%となり、前年同期の水準を2.5ポイント下回った。

営業利益の減益要因



- 売上高は、国内が前年同期比672百万円、11.7%減少した一方、海外は同16百万円、0.7%の増加となり、売上高全体では同655百万円、8.2%の減少となった。
- 売上原価は、材料費や外注加工費といった変動費が生産減により同15%程度減少したものの、労務費はほぼ横ばい、製造経費は減価償却費の増加等から同4.7%増加し、製品製造原価は同4.0%の減少となった。その結果、売上原価は同149百万円、同4.3%の減少となったが、売上高の減少率を下回った。
- 販管費は、販売促進費や広告宣伝費の減少等から、全体で同147百万円、6.3%減少した。
- これらの結果、営業利益は同359百万円、16.4%減少し、売上高営業利益率は25.0%と前年同期の水準を2.4ポイント下回った。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2019年3月期 3Q累計	2020年3月期 3Q累計	前年同期比 増減率
売上高	7,977	7,321	-8.2%
売上総利益 対売上高比率	4,535 56.8%	4,029 55.0%	-11.2%
販管費 対売上高比率	2,348 29.4%	2,201 30.1%	-6.3%
営業利益 対売上高比率	2,186 27.4%	1,827 25.0%	-16.4%
経常利益 対売上高比率	2,194 27.5%	1,831 25.0%	-16.5%
四半期純利益 対売上高比率	1,496 18.8%	1,226 16.8%	-18.0%
設備投資額	1,007	1,600	+58.9%
減価償却費	453	507	+11.8%
従業員数(人)	330	343	+3.9%

- 売上高は7,321百万円と前年同期比8.2%の減少。自動車部品等や電子・デバイス関連の減速が工具需要に影響を及ぼした。
- 売上高の減少により、売上総利益は4,029百万円と同11.2%の減少となり、売上総利益率も55.0%と同1.8ポイント低下。
- 販管費は人件費、一般管理費ともに抑えられ、同6.3%の減少。それでも売上高の減少が大きく、売上高販管費比率は30.1%と同0.7ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同16.4%減の1,827百万円、売上高営業利益率も25.0%と2.4ポイント低下。
- 設備投資額は、新開発センターや子会社新工場の竣工等もあり、58.9%の増加となる1,600百万円。減価償却費は、機械設備の新規導入により11.8%増加の507百万円。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2019年 3月期末	構成比	2020年 3月期3Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
流動資産	9,932	64.6%	9,077	58.6%	-8.6%
現金及び預金	6,209	40.4%	5,350	34.5%	-13.8%
受取手形及び売掛金	1,531	10.0%	1,379	8.9%	-9.9%
棚卸資産	2,056	13.4%	2,162	14.0%	+5.2%
固定資産	5,449	35.4%	6,420	41.4%	+17.8%
有形固定資産	4,685	30.5%	5,675	36.6%	+21.1%
無形固定資産	84	0.5%	61	0.4%	-27.1%
投資その他の資産	679	4.4%	683	4.4%	+0.6%
資産合計	15,381	100.0%	15,497	100.0%	+0.8%
(負債の部)					
流動負債	1,643	10.7%	1,066	6.9%	-35.1%
買掛金	277	1.8%	228	1.5%	-17.7%
固定負債	275	1.8%	254	1.6%	-7.6%
負債合計	1,919	12.5%	1,321	8.5%	-31.2%
(純資産の部)					
自己資本合計	13,397	87.1%	14,052	90.7%	+4.9%
純資産合計	13,461	87.5%	14,176	91.5%	+5.3%
負債・純資産合計	15,381	100.0%	15,497	100.0%	+0.8%

流動資産

固定資産取得による現預金の減少等により、前期末比8.6%減少。

固定資産

新開発センターや子会社工場の竣工等から、同17.8%増加。

負債

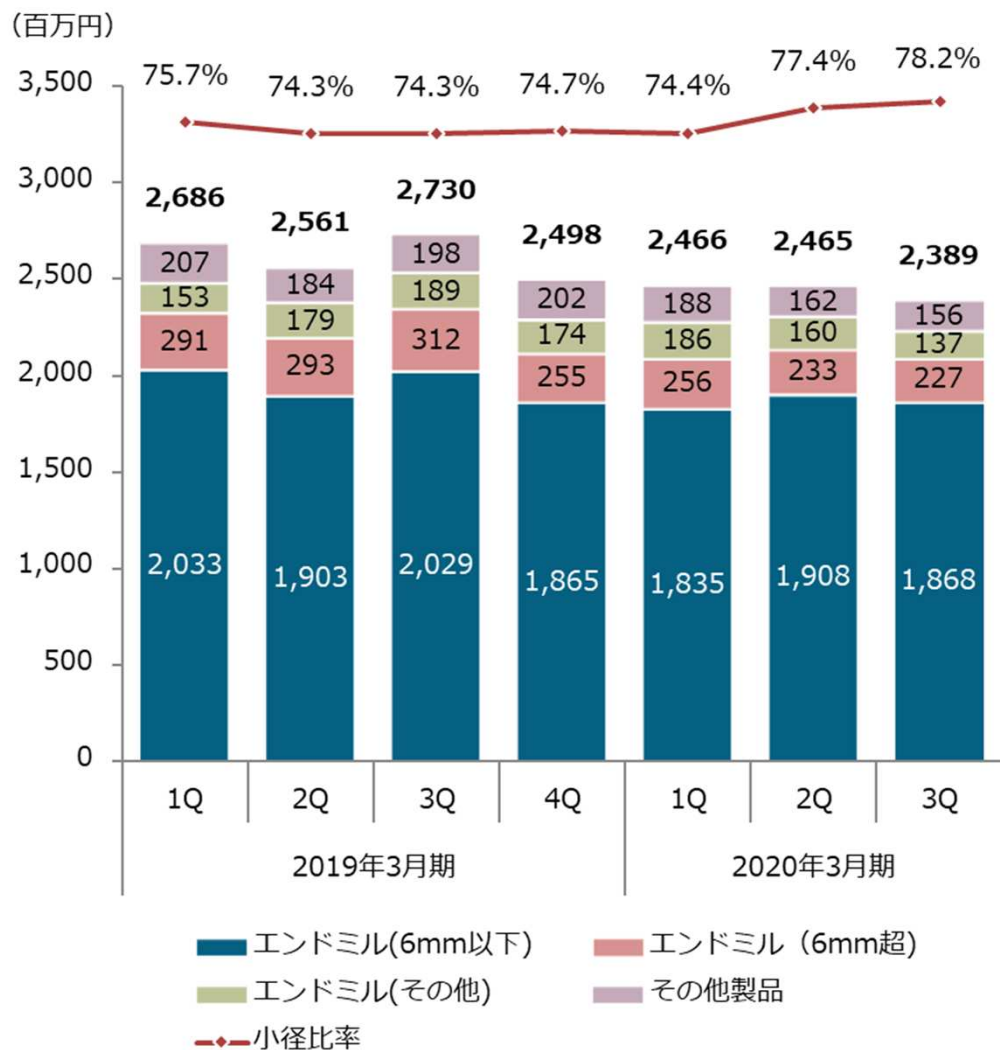
買掛金、未払法人税等、賞与引当金の減少等により、同31.2%の減少。

純資産

利益剰余金の増加等から、同5.3%増加、負債の減少もあり自己資本比率は90.7%と3.6ポイント上昇

四半期業績推移（売上高の推移 製品別）

製品別売上高と小径比率の推移

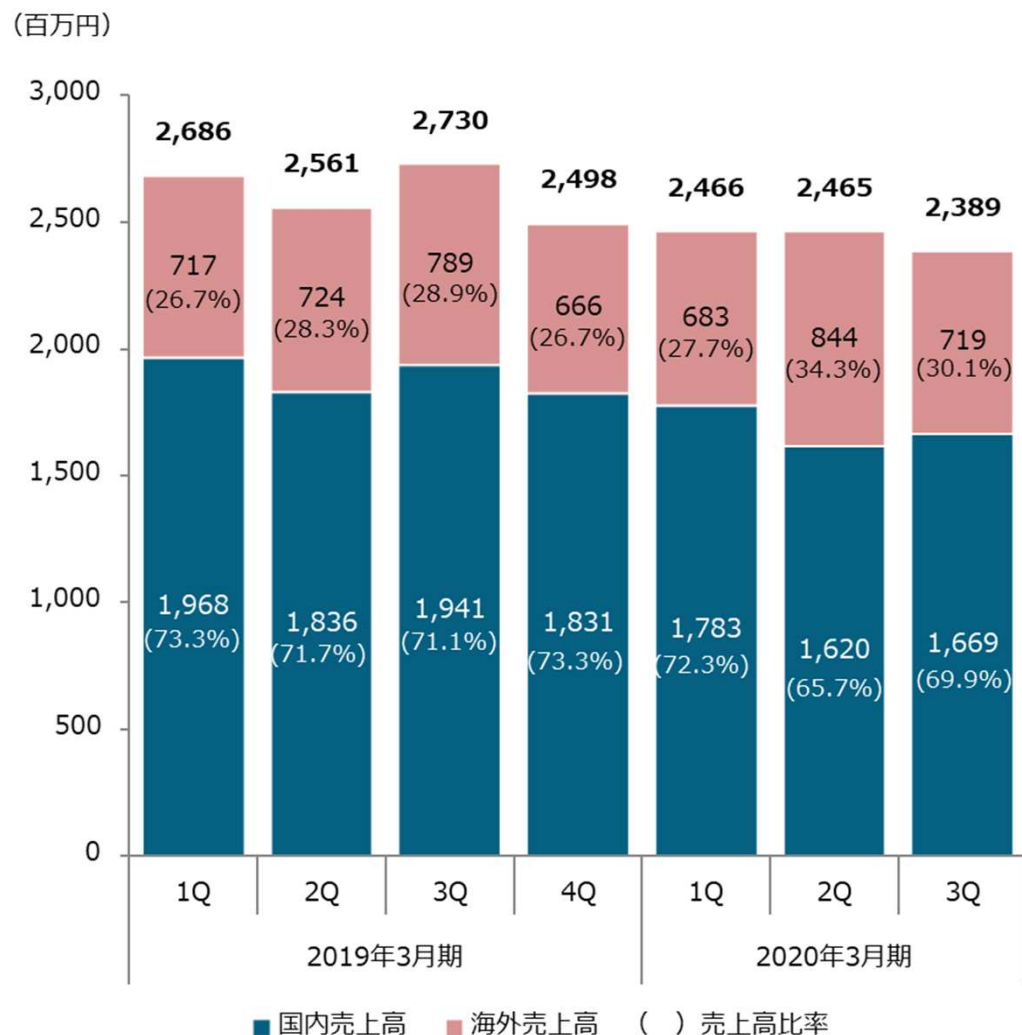


自動車関連では、9月までの国内新車販売台数は前年同期に比べ増加したものの、消費増税後に落ち込み、暦年では1.5%のマイナス、また最大の市場である中国では暦年の販売が8.2%と大きく減少した。半導体関連では、秋口に製造装置関連の一部に動きがみられたものの、本格的な動きにはならず、その他電子部品・デバイス関連も5Gへの期待はあったものの全体としては弱い動きとなり、工具需要も減少傾向での推移となった。

主力のエンドミル（6mm以下）は前年同期比7.9%減、一昨年秋に値上げを行ったエンドミル（6mm超）は同27.2%減と大きく減少した。またユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）も同27.6%の減少、工具ケース等のその他も工具需要全般の低迷から同21.2%減となり、各製品とも直前四半期に比べ厳しい状況であった。小径比率は小径以外の落ち込みが大きかったため相対的に上昇し、前年同期比3.9ポイントアップの78.2%。

四半期業績推移（売上高の推移 国内・海外）

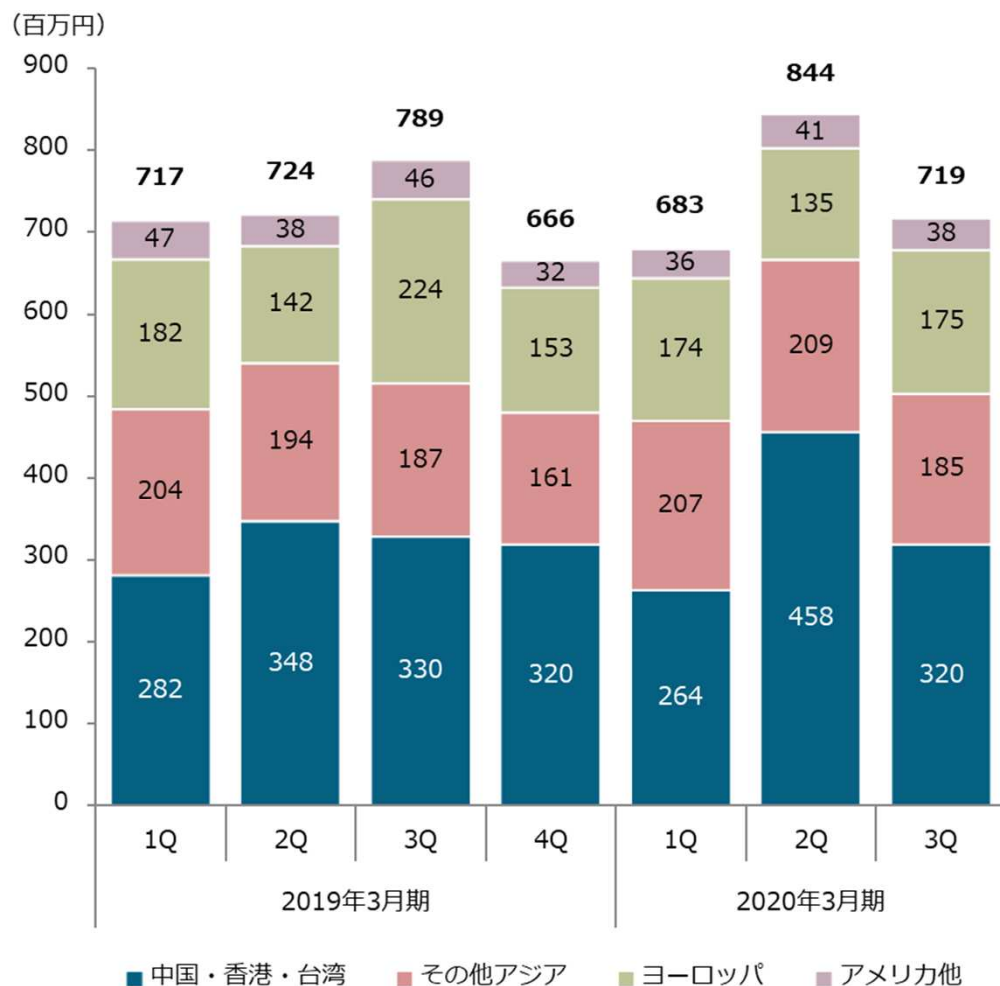
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期の水準から271百万円、14.0%減少し1,669百万円、直前四半期比では3.0%の増加。海外売上高も前年同期比69百万円、8.8%の減少の719百万円となり、スマートフォンへの搭載カメラ数の増加等で中国向けが好調であった直前四半期と比べると、14.8%減少した。
- 前年同期比では国内売上高の減少幅が大きかったことから、海外売上高比率は1.2ポイント上昇し30.1%となった。

四半期業績推移（売上高の推移 海外地域別）

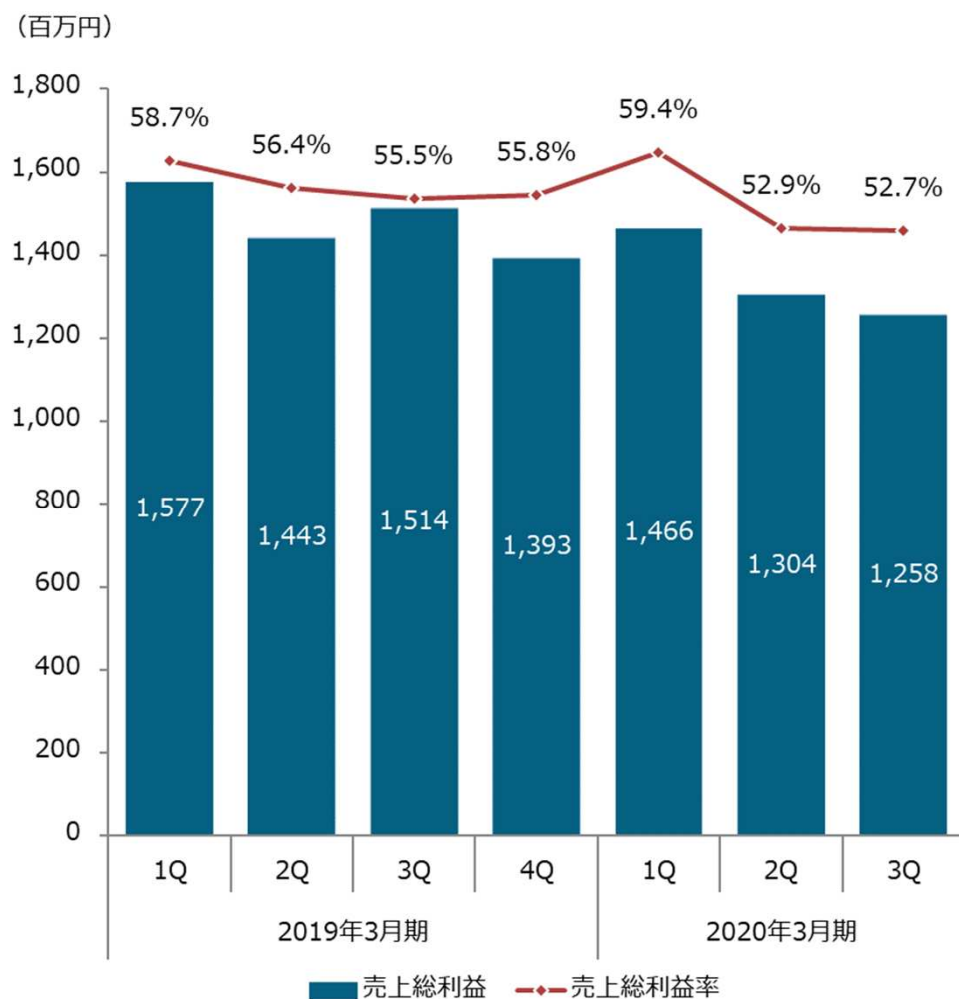
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比3.3%減少の320百万円、中国でのスマートフォン向け需要が高まる時期であり搭載カメラ数の増加の影響もあった第2四半期（日進工具香港の連結にからみ第2四半期の中国向けの数字は4-6月分）と比べると30.2%の減少。
- その他アジアは前年同期比0.9%減の185百万円。中国からの生産拠点シフトも期待されるが、精密加工分野については時間がかかるとみられる。
- ヨーロッパは前年同期比では21.5%の減少、直前四半期比では29.7%の増加となったが、中国向け輸出の減少等から大きな伸びは期待し難い。
- アメリカ他は引き続き少額での推移となっており、海外売上高全体の5%程度に止まっている。

四半期業績推移（売上総利益の推移）

売上総利益と売上総利益率の推移



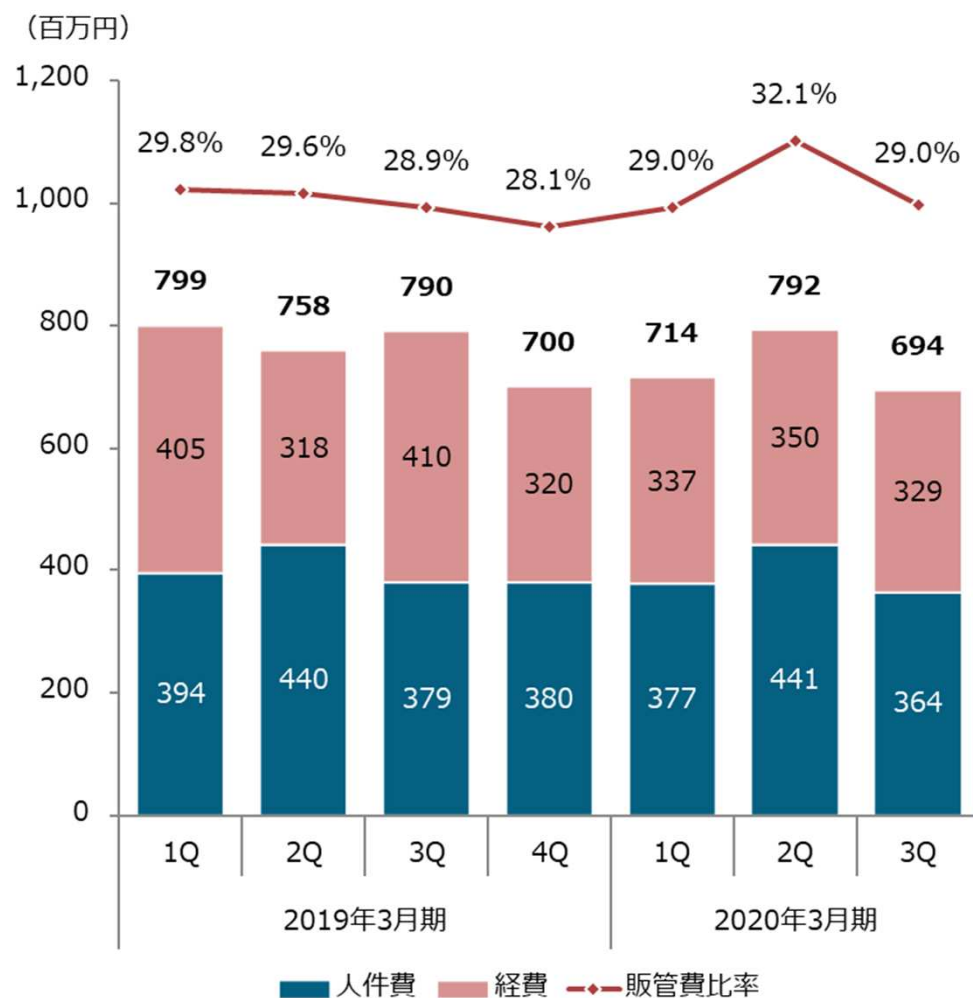
- 売上高の減少により引き続き前年同期に比べ生産量を抑えたことから、材料費や外注加工費といった変動費が減少し製造原価は同119百万円、10.4%の減少となったが、直前四半期末に比べ製品在庫が31百万円減少したため、売上原価は1,130百万円となり、前年同期比85百万円、7.0%の減少に止まった。
- これにより売上総利益は同255百万円、16.9%減少し1,258百万円、売上総利益率も52.7%と同2.8ポイント低下した。

(参考) 日進工具単体の売上総利益率の推移



四半期業績推移（販管費の推移）

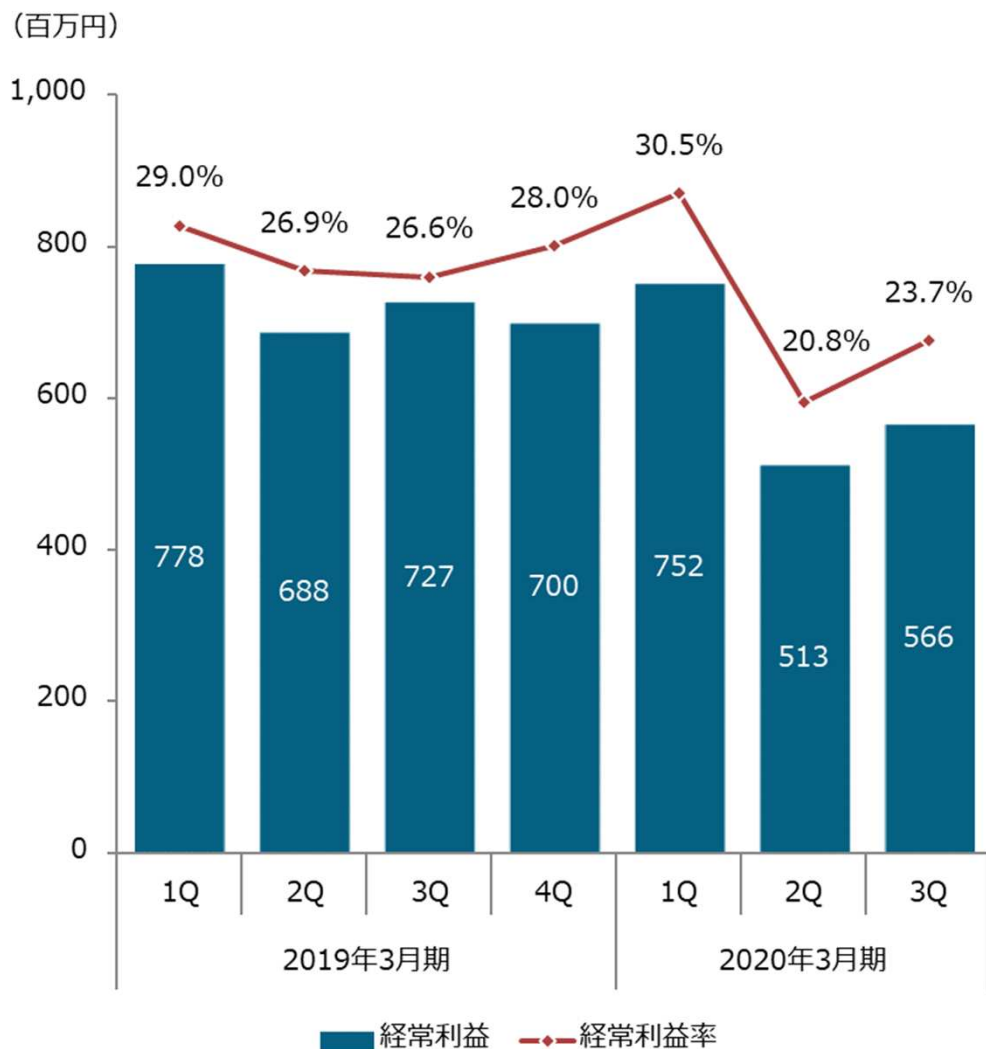
販管費と販管費比率の推移



- 人件費は、減益に伴い賞与や賞与引当金繰入が減少したこと等から、前年同期比で3.8%減少の364百万円。
- 経費は、前年同期では、JIMTOFへの出展や総合カタログの制作により展示会費や広告宣伝費が高んだほか、本社移転に伴う修繕費や消耗品費もあって410百万円と膨らんだが、当四半期は目立つ費用もなく329百万円と、前年同期比で19.8%の減少。
- 販管費全体では同12.1%減少し694百万円。売上高販管費比率は、販管費は減少したものの売上高の減少が大きく、29.0%と前年同期に比べ0.1ポイントの上昇となった。

四半期業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 前年同期比12.5%の減収となったことに加え、減産による影響もあり売上総利益が16.9%減少。販管費が12.1%減少したものの、営業利益は564百万円と同22.0%の減益。
- 営業外損益では、作業くず売却や受取配当金による収益3百万円と為替による差損1百万円が発生し、経常利益は566百万円と同22.1%の減益。
- 売上高経常利益率は23.7%と前年同期に比べ2.9ポイント低下したものの、株式報酬費用の計上があった直前四半期に比べると2.9ポイントの上昇となった。なお第3四半期累計期間の売上高経常利益率は25.0%で、前年同期に比べ2.5ポイントの低下となっている。

2020年3月期の業績予想



業績予想

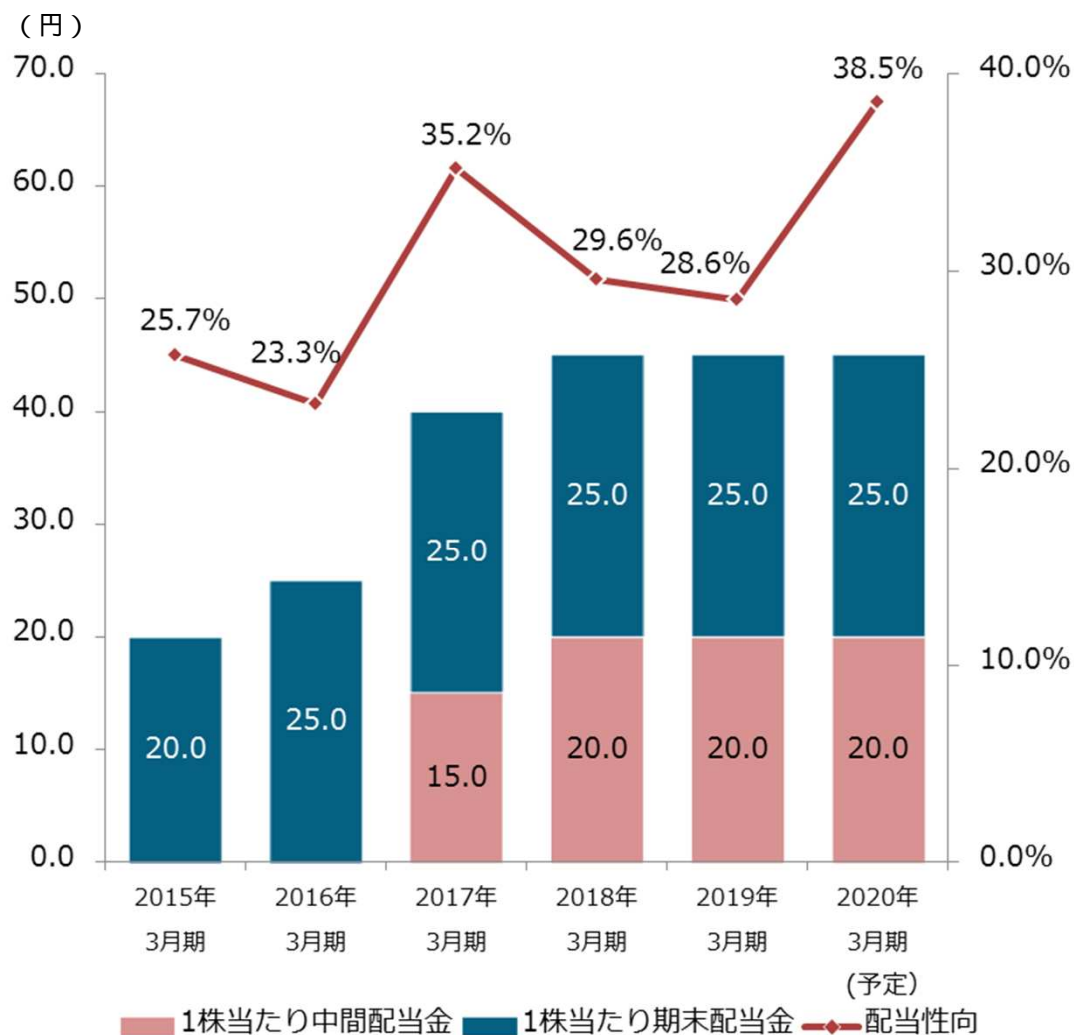
(単位：百万円)	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	10,476	9,590	-8.5%
営業利益	2,879	2,150	-25.3%
経常利益	2,894	2,160	-25.4%
当期純利益	1,970	1,460	-25.9%
設備投資額	1,268	1,697	+33.8%
減価償却費	629	740	+17.7%
EPS (円)	157.59	116.77	-25.9%
1株当たり配当金 (円)	45.00	45.00	

- 米中貿易摩擦において第1段階の合意がなされたことや、半導体関連の回復期待が出てきていること等から、米中摩擦や中東等の地政学的リスクは引き続き懸念されるものの、2019年10月31日に下方修正した通期見通しは十分達成可能と予想する。
- 第4四半期において急速な生産量の回復は見込みにくく、減産による売上総利益率の低下に加え、業界では例を見ない工具メーカー主催の展示会（NSプライベートショー2020）の開催といった先行投資もあり販管費が増加するため、利益は売上高に比べ前期比で厳しい水準を予想。
- 設備投資は生産能力のアップや効率化推進を図る機械設備の導入に加え、複数の免震装置と“微小振動対策ダンパー”を組み合わせたオリジナルの“オールラウンド免震”を採用する新開発センターの竣工等により過去最高の水準。これらにより減価償却費も上昇。
- 1株当たり配当金は年間45円を継続。

下期業績予想と進捗率

(単位：百万円)	2020年3月期								
	下期予想	売上比	3Q実績	売上比	下期 進捗率	通期予想	売上比	3Q累計 実績	通期 進捗率
売上高	4,657	-	2,389	-	51.3%	9,590	-	7,321	76.3%
前年同期比	-10.9%		-12.5%			-8.5%		-8.2%	
営業利益	886	19.0%	564	23.6%	63.7%	2,150	22.4%	1,827	85.0%
前年同期比	-37.4%		-22.0%			-25.3%		-16.4%	
経常利益	894	19.2%	566	23.7%	63.3%	2,160	22.5%	1,831	84.8%
前年同期比	-37.3%		-22.1%			-25.4%		-16.5%	
当期純利益	627	13.5%	394	16.5%	62.8%	1,460	15.2%	1,226	84.0%
前年同期比	-37.1%		-24.8%			-25.9%		-18.0%	

配当予想（株主還元について）



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

業績に応じた利益還元

- 2019年3月期の1株当たり年間配当金は45円。
中間配当20円、期末配当25円
配当性向は28.6%
- 2020年3月期の1株当たり年間配当金は45円を予定。
中間配当20円、期末配当25円
業績予想に対する配当性向は38.5%

利益水準の低下を想定するものの、配当の安定性等を考慮して前期の水準を継続。

- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、1单元（100株）以上を保有する株主様を対象にオリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を追加で贈呈。

參考資料

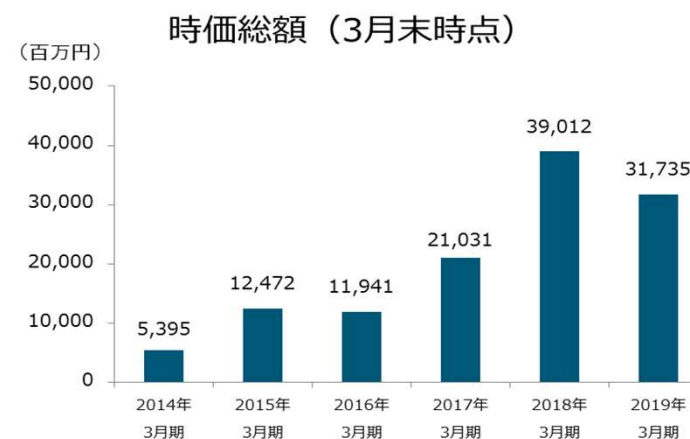
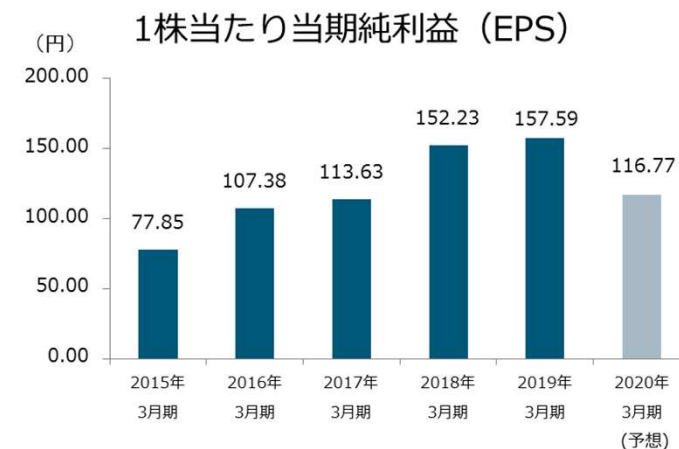
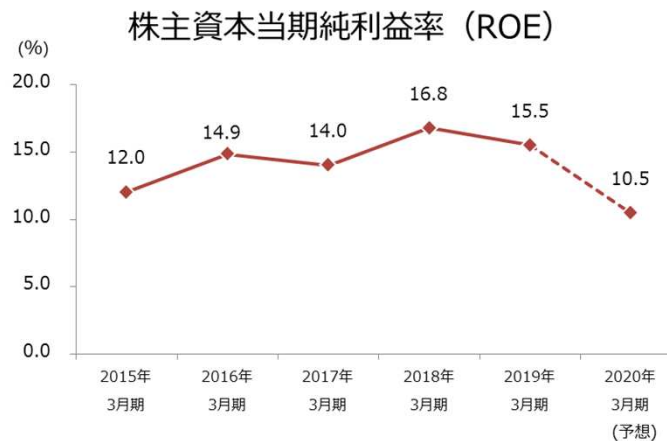


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2015年3月期 通期実績	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績
売上高	7,402	8,382	8,825	9,767	10,476
営業利益	1,481	1,914	2,013	2,695	2,879
営業利益率	20.0%	22.8%	22.8%	27.6%	27.5%
経常利益	1,534	1,954	2,026	2,733	2,894
経常利益率	20.7%	23.3%	23.0%	28.0%	27.6%
当期純利益	973	1,342	1,420	1,903	1,970
当期純利益率	13.1%	16.0%	16.1%	19.5%	18.8%
有利子負債額	-	-	-	-	-
純資産額	8,480	9,569	10,666	12,002	13,461
総資産額	10,339	11,371	12,517	14,467	15,381
自己資本比率	82.0%	84.2%	85.2%	83.0%	87.1%
設備投資額	612	1,295	774	663	1,268
減価償却費	474	505	632	625	629
1株当たり配当金(円)	20.00	25.00	40.00	45.00	45.00
従業員数(人)	281	280	322	338	343

2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

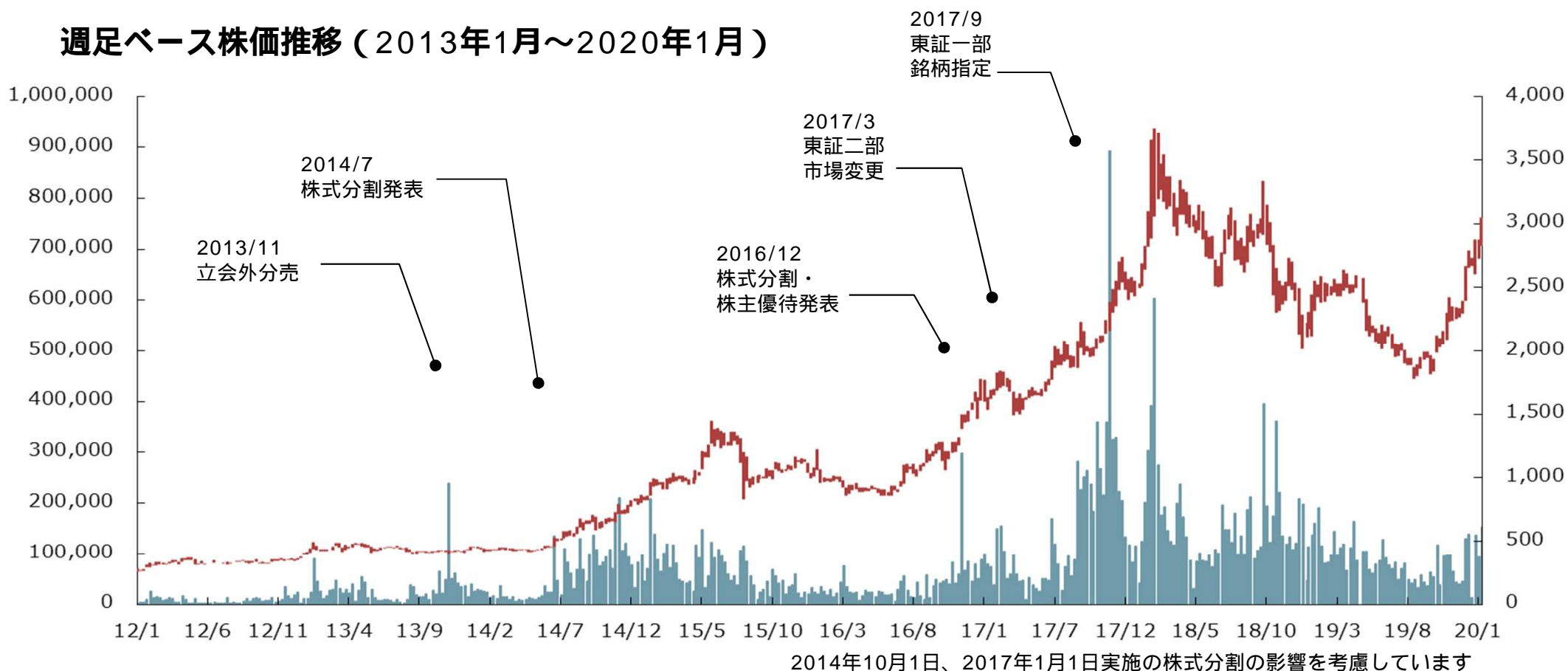
投資指標



2014年10月1日、2017年1月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2013年1月～2020年1月）



バリュエーション（2020年1月27日現在）

売買単位	100株
時価総額	357億円
ROE (19/3期実績)	15.5%

単元株価格	28万5,800円
PER (20/3期予想)	24.48倍
PBR (19/3期実績)	2.67倍

IR情報サイトのご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR Information Site. The top navigation bar includes '製品情報', '事例・技術情報', '会社情報', '採用情報', and 'IR情報' (highlighted in orange). Below the navigation bar, there is a header section with 'Investor Relations' and 'IR情報' (with a sub-code '東証一部 コード: 6157'). The main content area is divided into two columns. The left column features 'IRトピックス' and 'IRニュース' sections. The right column features an 'IR情報' sidebar with a 'IR情報トップ' link and a list of menu items: 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', '+ 経営方針・体制', '+ 事業戦略', '+ 業績・財務情報', and '+ IRライブラリー'. Callout lines connect these elements to their respective descriptions on the right.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員	経営企画室長	田島	寛
管理部	経理課課長	今関	弘毅
管理部	I R 担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135
FAX : 03-6423-1186
E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。